

年30回のイベントにボランティア派遣 スマイル・サポーターズ 発足から2年 若い世代の発掘にも力入れる

さっぽろグローバルスポーツコミッションが運営するスポーツボランティア「スマイル・サポーターズ」が活動開始から3年目を迎えました。登録ボランティアは6月末で917人。2018年度は30イベントと研修会に延べ960人、本年度も6月までに189人を派遣し、スポーツシーンを盛り上げています。事務局でスマイル・サポーターズを統括する今野健一さんと、登録者とイベントのマッチングなどを発足から担当してきた加藤幹子さんに、これまでの活動と今後の取り組みについて聞きました。

——スタートから2年間を振り返って手ごたえは

今野さん スマイル・サポーターズのようにまとまった人数のボランティア登録がある団体は数少ないので、スポーツイベント主催者から頼りにされている。年間で約30回の活動機会をつくれたのは、まずまずの成果と思っています。

——外国語ができる多言語対応ボランティアも261人います

今野さん ボランティアを抜きにイベントを運営することは難しい。これからもその傾向が続いてきています。活動の機会はまだまだ伸ばす余地があります。ボランティアの皆さんから参加してよかったと感じられるような、質と量の向上を目指したいですね。

——ボランティア登録者とメールでやり取りするほか、ボランティアの現場にも参加していますね

加藤さん ボランティアの実務に触れるのは初めてだったので、最初はどう関係を作っていくか心配しましたが、体験談をメールで送ってくれたり、反応がもらえるのがうれしいですね。回数を重ねることで親しい方も増えました。

——印象に残る活動は

加藤さん 台湾の高雄国際マラソンで2018年、今年とスマイル・サポーターズが給水ボランティアとして参加しました。札幌マラソンと交流のある大会で、こうした海外とのボランティアを通じたお付き合いが深まることは素敵なことです。来

スマイル・サポーターズの2年とこれからを語る事務局の今野健一さんと加藤幹子さん



年も3回目のボランティア活動を実現して、台湾との交流を深めたいですね。

——これからのスマイル・サポーターズをどう発展していきますか

今野さん 登録が900人を超えていますが、実際に活動してくれている人が固定化してくる傾向があります。もっと多くの人にボランティアの場に来てもらえるように工夫をしていきたい。もう一つは、2030年冬季五輪招致を目指して10年後にも力になってくれる若い層に登録をもっとしてもらいたい。そのために大学や専門学校への働きかけを進めます。いろいろな年代がそのライフスタイルに合わせてボランティアを楽しめるようにしたい。一方でボランティアの力量を高めて運営の一翼を担うような方を養成していくことも課題の一つと思っています。

〈スマイル・サポーターズ〉 2017年2月に開かれた冬季アジア札幌大会では「スマイル・サポーターズ」と名付けられたスポーツボランティア4,293人が各競技会場や選手村、市内各所のインフォメーションで活躍しました。その「遺産」を今後に生かそうと誕生したのが新生「スマイル・サポーターズ」です。国際的なスポーツイベントの誘致活動を進めるために設立された「さっぽろグローバルスポーツコミッション」(会長・秋元克広札幌市長)が、同年4月から冬季アジア大会のボランティアを対象に登録を呼びかけ、同年9月からは広く一般から登録者を募集しています。

寄付のお願い

認定NPO法人ランナーズサポート北海道では、北海道のランニング文化の健全な発展やスポーツボランティアの拡充のために、企業・団体・個人からの寄付を募っています。2013年7月に認定NPO法人となったことで、税制上の優遇措置が受けられるようになりました。寄付をしていただいた個人は所得税と住民税、法人は法人税が減額され、納めた税金の一部が戻って来ます。いずれも当NPO法人の発行する領収書を所轄の税務署に提出して申告することが必要です。クレジットカードによる寄付もできます。

詳しくはランナーズサポート北海道ホームページ

<https://runsupport-h.org/>の「寄付のお願い」の項目をご覧ください。

★編集後記★

7月7日の函館マラソンに出場しました。4回目です。規模の違いはあれ、北海道マラソンと類似点が多くあります。市街地中心のコースなので沿道の応援が途切れません。コース各所の応援パフォーマンスには、ランナーも手振りや拍手で応えます。25km過ぎのねぶたのお囃子とハネトでの応援は、後半を乗り切るパワーをもらえる私のお気に入りです。ボランティアも頑張っています。34km付近のレンガ倉庫群付近では温かい声援が背中を押してくれます。マラソン大会100選に入る理由のひとつでしょう。(J)

北のスポボラを支援していただいた団体・企業

株式会社サッポロドラッグストア 一般財団法人 さっぽろ健康スポーツ財団 さっぽろグローバルスポーツコミッション
NPO法人 日本市民スポーツ海外交流協会 北海道マラソン2019組織委員会 北海道ロードレース事務局
創文企画「ランニングの世界」 西宮の沢バッティングパーク ピッチャーガエシ